

## <事業所全体による自己評価> R2.11.14実施

### jump

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
いちばん星内の活動だけでなく、地域との交流や社会参加のスキルを上げる活動が取り入れられていますか	11月に地域の方から見学希望があり実施。以前から何の施設か気になっていたとのこと。地域理解を含め、利用児童も社会の中で生きていくために、地域交流の経験が大切になるため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に古賀市社会福祉協議会の行事の中で地域見学がおこなわれた。地域の方から見学希望があり、いちばん星古賀の見学を実施。地域の方は以前からいちばん星が何の施設か気になっており、地域理解が低いことを実感。</li> <li>・コロナ禍で、社会参加活動の幅が検証している。</li> </ul>	地域の方と利用児童が相互理解を深め、利用児童の社会スキルの向上をはかる	近隣の方へ挨拶。月1回の清掃活動。古賀市わくわくフェスタへの参加。地域イベントを把握し、参加する。公共の場への外出。	令和3年9月	
利用児童や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用児童や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	保護者の苦情、疑問、質問への迅速な対応が、利用児童に対するより良い支援に繋がる。保護者、児童の信頼関係構築に繋がるため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバック時、面談時、LINEにて意見をいただくことがある。対応職員が責任者に報告し、責任者が保護者対応を行っている。</li> <li>・個々の特性に合わせた療育活動内での配慮が乏しかったことを指摘された。</li> </ul>	職員間の迅速な周知と保護者対応、改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングから個別支援計画を作成する上で、保護者と利用児の細かい特性や意見を聴取し療育活動に反映する。</li> <li>・受けた苦情・意見・対応について、jump会議やスタートミーティング時に職員周知し、解決案や意見を協議する。</li> </ul>	令和3年9月	
いちばん星古賀で策定している緊急時対応マニュアル・災害マニュアル等に沿った訓練が行われていますか 非常災害の発生に備え、療育の中で定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	事業所内での利用児を含めた避難訓練、災害対策は行っているが、保護者への避難時対応連絡の周知ができていないため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月にいちばん星職員全体での風水害避難訓練を実施。連絡LINE、保護者連絡の確認、非常用品の確認を行った。</li> <li>・10月に全グループで火災避難訓練を実施。職員の役割分担、避難経路、避難体験、公民館確認を行った。</li> <li>・保護者から、マニュアルの内容が知らされていない。緊急時どこに迎えにいけばよいのか分からないという意見をいただいた。</li> <li>・いちばん星古賀のマニュアルは作成しているが、職員、保護者に周知していない。</li> </ul>	職員・保護者・利用児が災害時の対応を把握し、緊急時対応できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動予定連絡時に避難訓練の周知とマニュアルの提示を行い、避難訓練活動時のフィードバックを徹底する。</li> <li>・いちばん星内に緊急時対応マニュアルを提示</li> <li>・保護者に向けた、緊急時対応マニュアルの文書を配布</li> <li>・月一回の避難訓練の実施</li> </ul>	令和3年9月	